

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	草笛学園		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・発達課題別のグループ数によって部屋を区切って使用するなど工夫をしています。	・法令を遵守したスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	・日によっては、クラス職員が少なくなる場合がありますが、朝礼時に職員全体で配置の確認をするようにし、フリー職員などをクラスに配置するようにしています。	・外来教室や訪問支援など兼務しているため、基準配置より多めに職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	・適切な大きさの机椅子や、個々のマーク（視覚的でがかり）の用意をしています。 ・子どもたちの動きを全体で確認し危険個所を把握し対応しています。	・バリアフリーになっていない部分があるため必要に応じて簡易的なスロープを設置するようにしています。 ・子どもたちの分かりやすさや活動の導線など、引き続き配慮や工夫をしています。また、子どもに合わせて、ことばだけでなく、具体物や絵カードなどを用いながら分かりやすく情報伝達をおこなっていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・常時換気、降園後の清掃や感染防止のため、室内（床・壁等）、子どもが触れるものは毎日消毒をおこなっています。 ・子どもたちが安全かつ快適に遊べるように、室内や園庭にあそびのコーナーを設定している。環境を整理することで、子どもの分かりやすさにもつながっていると思います。	・子どもたちが心地よく過ごせるように引き続き、衛生面に配慮し、環境整備やあそびの空間の工夫をおこなっていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	・発達検査や個別指導などで使用する部屋や、子どもの状況に合わせて活動したりゆっくりと過ごす（クールダウン）場所があります。	子どもが安心できる場所を保障していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	2	・毎月の職員会議では、行事の目的、内容、その後の反省・改善について共有し、年度末には職員全員で園の在り方について検討し改善に努めています。 ・指導者会議、クラス会議、グループ会議でも支援内容の振り返りや見直し、検討を行っています。	・引き続き、各会議を通して園の在り方や支援内容の検討を行っています。 ・保護者向け評価表の保護者の意見を職員間で共有し、現状の見直し、次年度への取り組みに活かすようにしていきます。 ・会議時間の確保をし、多くの職員が参画できるようにしていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・保護者向けの評価表について職員間で確認をし、見直しや次年度に向けての取り組みにつなげるようにしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	・各会議予定を月末までに設定して職員に周知するようにしています。十分な時間はとれていませんが、内容を整理しながら会議をするようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	4		・保護者からの事業所評価結果、自己評価結果について、第三者委員から意見をいただいています。意見を職員間で共有し、さらに改善につなげていきたいと考えています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしています。 ・毎月、職員研修日を設けています。	・研修の機会は保障できていると思いますが、口頭での研修内容の報告は十分ではないことが課題です。職員研修日の中でフィードバックするなど時間を確保できるように工夫します。 ・引き続き、職員の資質の向上を目指していきます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	3	・まだ、公表されていません。 ・毎年年度初めに、支援内容などが書かれている「くさぶえのしおり」を保護者に配布し、「療育ガイダンス」として、支援内容の説明を行っています。	・児童発達支援ガイドラインに沿って支援プログラムの作成、公表を行います。		

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・新年度に調査票で、子どもの家庭での様子や、保護者のニーズを聞き取り、園での様子については、アセスメント表を使い、実態把握をし支援計画を立てています。	・前期・後期でアセスメントやモニタリングを行ない、児童発達支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・クラス担任全員が会議参加し、子どもの実態を共有し、目標の設定、取り組みの内容について検討をしています。 ・クラス会議の時間内に検討が終わらないことがあります。	・クラス会議で児童発達支援計画の検討、経過、目標の見直しなどの時間が十分にとれるように調整をしています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・クラス会議の中で、複数の視点で定期的に経過の確認や目標の見直しをおこなっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	0	・全園児について、独自のアセスメント表を使用し、子どもの実態を把握できるようにしています。	・アセスメント表の見直しを行ない、5領域の視点を踏まえ、より細やかなアセスメントができればと考えています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		・子どもたちの発達や特性を考慮しつつ、ガイドラインに記されている本人支援の「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の向上をねらい、療育内容を設定しています。また、安定した家庭生活が送れるよう家族との連携および相談対応や必要に応じた地域資源に関する情報提供を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・クラスやグループ会議等で活動内容やねらいを考えます。 ・活動内容については、月ごとに「療育カレンダー」として保護者に配布しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	・各種会議にて、子どもの実態に合わせて、楽しめるように工夫しています。また、活動の振り返りをし、新たな設定を行っています。 ・子どもの発達によっては、同じ活動をじっくりと繰り返すことを大事にしたいため、固定化することもあります。	・引き続き、活動の立案をするにあたって、クラス会議、グループ会議、年長会議などで、子どもたちのニーズに応じた活動内容を検討し、職員間でねらいや意図を共有したうえで行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	・発達課題別や全体集団など多様な集団を保障しています。個別活動は、子どもの状況に応じて取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	4	・当日の活動内容や職員配置については、朝礼で確認をしています。 ・バス送迎の添乗などで、担当職員全員との打ち合わせは難しいのですが朝礼簿や打ち合わせノートを使用し共有できるようにしています。 ・職員間で打ち合わせや振り返りをするを意識していますが、十分な時間が取れないことは課題です。	・引き続き、朝礼では職員全体で活動内容や職員体制について確認していきます。また、その日の活動についての細かい打ち合わせの時間も保障し、職員間で共有できるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	8	・会議では、取り組みの振り返りなどはできていますが、毎日の振り返りは十分ではありません。 ・休憩などの合間に、振り返りをしています。時間が取れない日もありますが、大事なことを伝えあう意識はするようにしています。	・日々の振り返りや全職員で共有すべき点については、限られた時間（終礼など）の中で行っていくようにしています。 ・今後も各種の会議を通して、子どもの評価・取り組み・支援の内容を検討し、充実した支援につながるよう努めています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	4	・療育日誌には、日々の活動内容や子どもの様子を記録しています。 ・ケース記録には、課題や支援の経過、子どもの変化などを記録し支援の検証や改善につなげています。	・引き続き、療育日誌、個別ケースに記録することを徹底し、支援の検証、改善に努めています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・定期的に会議を行ない、計画の見直しを行っています。	・前期・後期にモニタリングを実施し、計画の見直しをしています。保護者の方には「あゆみ」として、取り組みの経過や変化をまとめたものをもとに、懇談を実施し子ども理解を共有しています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1		・担当が参加し、内容については、記録の閲覧、報告等で共有するようにしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	・必要に応じて実施しています。	・こども発達支援センターや医療関係機関、障がい福祉課、ネウボラ課などが必要に応じて、情報共有や連携をおこない、適切な支援がおこなえるよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	3	・子どもの実態に合わせて、就園についての検討会議を行なっています。 ・移行に向けて見通しを持ちながら取り組んでいくという意識はもつようになっています。	・小学校への入学、保育所(園)などの入所にあたっては、支援の継続性を考える上で、情報提供が必須と考えています。よりよい環境づくり、支援になるように、子どもの特性や状態について丁寧に伝え連携を行なっています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・児童発達支援計画や計画に対するの評価、今後の課題など、情報提供をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	2	・講演会の開催や学習会や事業所の研修会にて講師、ケース検討の助言をおこないました。 ・福山市児童発達支援事業所連絡協議会(児発達)にて学習会(就学・ケース検討など)をおこなっています。	・引き続き、子どもや家族を地域で支えていけるように、連携を図りながら適切な支援ができるように努めていきます。 ・地域全体で質を高めていけるように、講演会や児発達での学習会など、積極的に取り組んでいけたらと思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・講演会では、外部から講師をおよびしています。 ・職員のスキルアップのため、年数に応じて研修に参加するようにしています。	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	2	・担当者が参加しています。	・地域での連携や必要な支援のあり方について、検討や協力を引き続き行なっていく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	15	・地域の子どもたちとの交流はありませんでしたが、地域の大学生と触れ合う機会がありました。	・今の時点でまだ交流はおこなっていませんが、近所の保育所の子どもたちと交流ができればと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・園バスでの送迎のため、保護者の方と直接お話ができる機会は少ないのですが、お子さんの様子や変化、取り組みについて、行動の意味付けなど、クラスだよりやグループだより、年長だより、個別のおたよりなどで伝えるようにしています。保護者の方と共通理解ができればと考えています。	・保護者支援は子どもを支援すると同様に大切な事柄と考えています。おたよりや懇談、親子教室、研修会を通して、共通理解が持てるよう取り組み、保護者の支援につなげていきます。 ・ペアレントトレーニングは、希望者を対象にプログラムを実施しています。今年度は人数を限定させていただきましたが、来年度に向けて人数や実施期間を検討していきたいと思えます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	・講演会や参観後の研修会、クラス懇談、保護者の勉強会など、実施し理解を深めていけるようにしています。 ・ペアレントトレーニングは、希望者を対象にプログラムを実施しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・運営規定、利用者負担等に関しては、入園説明会でお伝えしています。 ・支援内容については、「くさぶえのしおり」を作成し、5月に実施した療育ガイダンスで説明を行っています。	・引き続き、運営規定、利用者負担などについての保護者の方に分かりやすく丁寧な説明に努めていきます。支援内容についても「療育ガイダンス」の中で説明をおこなってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・家庭での様子の聞き取りやアセスメントをもとに、子どものねがいを推測して計画を立てています。 ・新年度に調査票や懇談を実施し、保護者の思いや願いを確認する機会を設けています。	・保護者の意向を確認する機会を保障し、また、子どもの発達上のニーズを丁寧に把握しながら計画の作成をしていきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	・家庭訪問や懇談の中で支援内容の説明を行っています。	・「児童発達支援計画」については、家庭訪問や懇談などで内容の説明を行っています。限られた時間なので、十分な理解につながらないこともあるかもしれませんが、引き続き丁寧に説明をしていきたいと思えます。	

38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談や親子教室などで子育ての悩みについて助言、支援を行っています。その他にも相談があった場合は、その都度、おたより、電話などで対応するようにしています。 ・ 相談に即対応できない内容のときには、他の職員と協議しお伝えするようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の思いや悩みを聞いたり話したりする機会（懇談・親子教室など）を定期的に設けています。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会活動の場所の提供や、支援をしています。 ・ クラス懇談やグループ懇談など、保護者同士で交流できる機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会活動は、基本的には保護者主体で運営されていますが、必要に応じて、園が支援、協力を行っています。 ・ 保護者同士のつながりが子育ての力になることもあるかと思っています。引き続き、保護者同士が繋がれる形を考えていきたいです。ただ、就労されている保護者の方も多くなっているのので、負担にならないような形を考えていけたらと思います。 ・ きょうだい同士の交流の機会については今後検討していきたいと思っています
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者からの相談や申し入れについては、タイムリーに対応できるように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、相談や申し入れがあった場合には、時間を設けたり、電話でのやりとりをしたりすることで、保護者の方が安心してお子さんを預けられるように努めています。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定期ではありますが、HPで様子をお知らせするようにしています。 ・ 行事予定、事務連絡、子どもの活動、活動のねらい、様子等については、各種おたよりを発行しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、各種おたよりでお知らせをしています。不定期にはなりますが、HPで行事の様子などもお伝えしていきたいと思っています。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真の取り扱いについては、年度初めに承諾アンケートをとるようにしています。 ・ 関係機関との連携についても、同意を得るようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報の扱いは重要かつ慎重なことです。意識を高め、管理の徹底に努めます。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ ことばのみで伝えるのではなく、マカトンサインや視覚的な手がかりを使いながら伝達しています。 ・ 子ども、保護者とも分かりやすく情報伝達することを意識するようにしています。 ・ メールなどを使用して情報伝達をおこなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の方の状況に応じて、丁寧な配慮を行っています。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方を招待する行事はおこなっていません。くさぶえっこまつりでは、ボランティアとしてご協力いただいています。 ・ 園の様子を新聞発行により周知しています。また、地域の会合に参加しています。 ・ 子どもの散歩の際には、挨拶するなど、積極的に関わりを持つようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの散歩や課外活動での積極的な近隣の方々とのかかわりや、新聞発行による周知などを行っています。 ・ 地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していきます。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルについては、職員間で共有できていないものもある。 ・ 感染症対応については、職員研修として学ぶ機会を設けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの安全を守るための必要な対応については、マニュアルを元に、職員が共有対応できるように危機管理、訓練を引き続き行っていきます。 ・ 地震や防犯などに対する想定を常に意識し、訓練を行っています。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練は毎月実施しています。年に1回、消防士の指導のもと、総合訓練（通報、避難、消火）を実施しています。 ・ 火災以外に土砂崩れを想定した避難訓練を行っています。 ・ 防犯訓練はできていません。 	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度初めに調査票に記入をしてもらい、把握するようにしています。必要に応じて、対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。 	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園時に指示書の提出をお願いし、対応しています。変更があった場合は、その都度、保護者と確認しています。 ・ 食物アレルギー対応については、除去食対応、マニュアルの作成をし職員間での共有をしています。また、朝礼時に除去食の確認や毎月、エビペン使用の訓練をおこなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、年度初めには調査票に記入していただき、子どもの状況を把握し職員間で共有をしています。 ・ 日ごろからの訓練や研修を行い、お子さんが安全に過ごせるように努めています。

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、職員が自分の担当箇所の安全点検をおこない、チェックリストに記録を職員会議で共有している。 ・リスクの高い場面（散歩）の危険箇所や注意すべきことを記入した安全マップを作成しています。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知は不十分です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方に周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット案件が発生した場合は、職員間で状況把握、今後の対応について考えるようにしています。 ・法人内の事業所のヒヤリハットも共有し再発のないよう気をつけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ヒヤリハット事項の共有をし、職員全体の意識化を高めていきます。また、定期的に危険箇所や危険予測について確認し、再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、職員全体で「倫理綱領」「職員の心得」について読み合わせをおこなっています。虐待についての研修会では、グループワークの中で、職員それぞれの意見を述べ合う機会をつくっています。 ・定期的に虐待防止委員会を開催し、職員会議で内容を報告し、虐待防止について確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、研修機会を設けるとともに、定期的に学習会を設定するなど、支援姿勢について考える機会を作っていけたらと思っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに身体拘束・行動制限のガイドラインを全職員で共有している。 ・定期的に共有することはできていない。定期的に共有していく事が必要だと思います。 ・保護者へは、ガイドラインの説明を動画配信でおこない、支援計画に記載しています。質問、疑問点などについては、その都度対応をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者の方には、動画で身体拘束・行動制限のガイドラインを説明を行っています。また、内科健診や歯科検診などでやむを得ない時には、その様態や時間、子どもの様子を記録していきます。 ・身体を押さえる、移動を室内に制限するなど、身体拘束の捉え方や考えられる場面を職員全体で確認したり、日常的な関わりの中で、適切であるかどうかを確認し合う機会を定期的に設け職員間の意識を高めていきます。